

やまがた社会貢献 基金を活用した助成事業のご紹介

■協働助成事業(テーマ希望型)

アサヒビール株式会社山形支社様からの寄付による

〔うまい!を明日へ!郷土が誇る最上川と伝統文化保護・保全事業〕

地域の伝統文化を次世代に継承する事業

事業実施団体 湯野沢伝統芸能保存会(村山市)

事業内容

当保存会は、獅子頭連・奴連・神輿連・鹿の子連の4団体で構成され、地区住民の交流や次世代へ継承するため世代間の交流を行い、地域の生活・文化の向上を図っています。

最も大きな活動となるのは、地元の村山市湯野沢地区で10年に1度行われる熊野神社の「大祭」への出演です。今回「大祭」を担った世代は、10年後の「大祭」を担う次の世代へ奴



ぶりなどを継承していきます。

これまで、「日本一のさくらんぼ祭り」をはじめ各種観光イベントに出演してきましたが、平成26年度は、浅草寺(東京都)で毎年開催される村山市観光物産展のアトラクションとして10年ぶりに参加しました。国内外から訪れた多くの観光客から大変好評をいただき、当地区の伝統文化の魅力十分に伝えられたと思っています。

このたび、アサヒビール株式会社山形支社様のご支援を受け、奴竿などの奴ぶりの道具の修復をしていますが、修復後は、さらに見栄え良く、より迫力のある演技をご披露できることと期待しています。これからも地域の伝統文化と道具を大切に、後世に引き継いでいけるよう努力していきます。

団体からの一言



宮崎会長

後継者の育成とともに道具の整備を行い、次世代への伝統文化の継承に取り組んでいきます。ご支援をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター様からの寄付による

〔山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発信!未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業〕

定時制版「ニュークラウン」～持続可能なエネルギー供給装置製作～

事業実施団体 山形県立米沢工業高等学校定時制生徒会(米沢市)

事業内容

本校定時制生徒会では、平成24年度から「人に役立つものづくり」を目的にものづくり活動を継続しています。

3年目となる平成26年度は、自然エネルギーを利用し、環境に配慮したものづくりをコンセプトとして、平成25年度に製作・寄贈した「点字学習支援装置」(弱視者や視覚障がい者が点字を自主練習するときの補助教材。打った文字が音声化され、入力した文字を耳で確認しながら学習することができる装置)の充電や緊急時の小電源の確保を目的とする「太陽光発電装置」を製作し、「点字学習支援装置」の寄贈先である山形県立山形盲学校及び福島県立盲学校に寄贈したほか、福島県立盲学校からお声掛けいただいた福島県視覚障がい者福祉協会へ寄贈しました。生徒たちは「使用する方のことを考えて軽量化を図り、様々な用途で使用していただけるよう工夫した。喜んでいただけてうれしかった。」と話していました。



今後は、地域の緊急避難場所として利用される施設への寄贈も予定しています。

団体からの一言



生徒会の皆さん

本基金の助成を受け「点字学習支援装置」等の製作・寄贈を続けてきました。今後も社会に貢献する「ものづくり」を続けていきたいと思えます。ご支援をいただきました株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター様、どうもありがとうございました。